

社 会（地理的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい社会 地理
17	教	出	中学社会 地理 地域にまなぶ
46	帝	国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
116	日	文	中学社会 地理的分野

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	日本の地域区分と中核となる考察及び内容 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	世界の諸地域の地域区分と主題例及び知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例
		⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	調査の手順と方法
		⑥	作業的・体験的な学習を実施するための工夫	作業的・体験的な学習の事例数と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列・分量	総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料の内容とページ数
		⑧	発展的な学習に関する内容の記載状況	発展的な学習における記載の仕方と事例及び思考を深める問いや手立て
(エ)	内容の表現・表記	⑨	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑩	本文以外の記述の工夫	脚注・側注等の記載の仕方
(オ)	言語活動の充実	⑪	多面的・多角的に考察させるための工夫	小単元のまとめにおける問いの例
		⑫	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	世界の様々な地域の調査におけるまとめ方の例

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東 書	○ 見開きごとに、タイトルを「世界の地形」のように示している。タイトルの右横に設けたコーナーに「どのような・どのように ～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界から見た日本の自然環境」 ○ 「世界の山や火山の分布にはどのような特色があり、日本はどのような場所にあるのでしょうか。」 ○ 「日本の山地や海岸、周りの海には、世界と比べてどのような特色があるのでしょうか。」
教 出	○ 見開きごとに、タイトルを「変動する大地と安定した大地 ▶世界の地形」のように示している。タイトルの下に設けたコーナーに学習課題と表記し、「どのような・どのように ～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界から見た日本のすがた」 ○ 「世界の地形をみていくなかで、日本にはどのような地形の特色があるのでしょうか。」 ○ 「日本列島にはどのような特色を持つ地形がみられるのでしょうか。」
帝 国	○ 見開きごとに、タイトルを「世界の地形」のように示している。タイトルの右横に設けたコーナーに学習課題と表記し、「どのような・どのように ～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「自然環境の特色」 ○ 「世界において、地震や火山活動が活発な地域とそれらがほとんどない地域は、どのように分布し、ここではどのような地形がみられるのでしょうか。」 ○ 「日本の山地や海岸、日本を取りまく海には、どのような特色があるのでしょうか。」
日 文	○ 見開きごとに、タイトルを「世界の地形」のように示している。タイトルの左横にコーナーに学習課題と表記し、「どのような・どのように・なぜ ～だろう。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「自然環境や災害・防災からみた日本」 ○ 「大地の不安定な地域と安定した地域には、それぞれどのような特色があるのだろう。」 ○ 「世界と比べて、日本の地形（山地・平野）にはどのような特色があるのだろう。」

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	日本の地域区分と中核となる考察及び内容

	日本の地域区分	中核となる考察	考察する内容
東 書	九州地方	環境問題・環境保全	「東北地方」 ○ 伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし 1 東北地方の生活の舞台 2 東北地方の人々の営み 3 祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり 4 伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業 5 過去からの継承と未来に向けた社会づくり
	中国・四国地方	人口・都市・村落	
	近畿地方	歴史的背景	
	中部地方	産業	
	関東地方	他地域との結び付き	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	
教 出	九州地方	環境問題・環境保全	「東北地方」 ○ 生活・文化を中心に考えよう 1 豊かな文化を育んだ地域 2 現代に生きる地域文化 3 東北地方の食文化と水産業 4 冷害を乗り越える農家 5 農村の暮らしの変化
	中国・四国地方	人口・都市・村落	
	近畿地方	歴史的背景	
	中部地方	産業	
	関東地方	他地域との結び付き	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	
帝 国	九州地方	自然環境	「東北地方」 ○ 生活・文化に注目して 1 東北地方の自然環境 2 寒い夏に対する稲作と畑作の努力 3 果樹栽培の発展と生活に根づいた漁業 4 伝統文化を生かした観光業の発展 5 発展する工業と生活の変化
	中国・四国地方	他地域との結び付き	
	近畿地方	環境問題・環境保全	
	中部地方	産業	
	関東地方	人口・都市・村落	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	歴史的背景	
日 文	九州地方	環境問題・環境保全	「東北地方」 ○ 生活・文化の視点で 1 東北地方の自然環境 2 東北地方の人口、産業と震災の影響 3 東北地方の伝統文化を守る取り組み 4 生活・文化からみた東北地方の農業・工業 5 東北地方の生活・文化と他地域との結びつき
	中国・四国地方	人口・都市・村落	
	近畿地方	歴史的背景	
	中部地方	産業	
	関東地方	他地域との結び付き	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

領土をめぐる問題等に関する記載の仕方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の領域の特色を見てみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「領土をめぐる問題」 ・地図・年表 「日本の領土返還の歴史と北方領土」 ・写真 「竹島」「尖閣諸島」 ○ 「地理にアクセス 日本列島を構成する島々ー竹島・北方領土・尖閣諸島ー」 <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで、「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」について写真と地図を記載して解説している。 ・項目 「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」 ・地図 「日本の領域と排他的経済水域」「竹島周辺の地形」「竹島の2万5000分の1地形図」「北方領土周辺の地形」「20万分の1地勢図」「魚釣島の5万分の1地形図」「久場島の5万分の1地形図」 ・写真 「竹島」「尖閣諸島」「択捉島の散布山」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の領土をめぐる▶日本の国境をめぐるさまざまな動き」 <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「北方領土をめぐる問題」「竹島と尖閣諸島」 ・地図 「北方領土とその周辺」「竹島、尖閣諸島の位置」 ・写真 「領土問題などを話し合う『日ロ首脳会談』の様子」「竹島」「尖閣諸島」「日本とロシアの中学生による意見交換会」 ○ 年表 「北方領土問題に関する主なできごと」
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の領域と領土問題」 <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「移り変わってきた日本の領域」「北方領土をめぐる問題」「竹島」「尖閣諸島」 ・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」「竹島の位置」 ・写真 「北海道から見える北方領土の島々」「竹島」「尖閣諸島」「かつて島に住んでいた日本人の墓に手を合わせるビザなし交流訪問団の人々」「ビザなし交流でロシアから日本に来た中高生たち」「日本の領海に侵入する中国の船」 ・脚注 「サンフランシスコ平和条約では、竹島、尖閣諸島も放棄した島々には含まれていません。」「入国先の国が、国に入ることを許可する証明書をビザといいます。この交流ではビザだけでなく、パスポートも必要ありません。」 ○ 「漁業がさかんだった昔の竹島」 <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの囲み文で、「昔の竹島」について写真を記載して解説している。 ・写真 「隠岐の島民たちが行っていた竹島での漁のようす」
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の領域をめぐる問題をつかむ」 <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「北方領土」, 「竹島」, 「領土問題の解決に向けて」, 「尖閣諸島をとりまく問題」 ・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」, 「北方領土付近の国境の変化」 ・写真 「羅臼町から見た国後島」「『ビザなし交流』で国後島の一般家庭をおとずれ、ロシア人と交流する訪問団」「竹島」「竹島が日本固有の領土であることを示す地図の展示」「尖閣諸島」「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	世界の諸地域の地域区分と主題例及び知識・技能を身に付けさせる工夫

	世界の諸地域の地域区分	主題例	知識・技能を身に付けさせる工夫
東 書	アジア州	急速に進む成長と変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元の終わりに「〇〇州の学習をふり返ろう」、中単元の終わりに「この章の学習を確認しよう」を設けている。 ○ 見開きページに「地理スキルアップ」「ためしてみよう」「確認」「えんぴつマーク」のコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	国どうしの統合による変化	
	アフリカ州	特定の生産品にたよる生活からの変化	
	北アメリカ州	盛んな農業や工業の特色	
	南アメリカ州	開発の進展と環境問題	
	オセアニア州	強まるアジアとの結び付き	
教 出	アジア州	アジアの多様性と経済発展	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元の終わりに「学習のまとめと表現」を設けている。 ○ 見開きページに「読み解こう」のコーナーを設けている。
	アフリカ州	アフリカの人々の暮らしとその変化	
	ヨーロッパ州	統合を強めるヨーロッパの国々	
	北アメリカ州	世界に大きな影響力をもつ北アメリカ	
	南アメリカ州	南アメリカの開発と環境	
	オセアニア州	他地域と結びつくオセアニア	
帝 国	アジア州	巨大な人口と急速な経済発展	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元の終わりに「学習をふりかえろう」を設けている。 ○ 見開きページに「探してみよう」「資料活用」のコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	国境を越えた結びつきによる変化	
	アフリカ州	人々の生活の変化と自立への課題	
	北アメリカ州	世界に影響を与える産業と文化	
	南アメリカ州	進む開発と環境問題	
	オセアニア州	多文化社会の形成とアジアとの結びつき	
日 文	アジア州	経済成長による社会の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元の終わりに「〇〇州をふりかえる」を設けている。中単元の終わりに「世界の諸地域をふりかえろう」を設けている。 ○ 見開きページに「言語活動」（読み取ろう、考えよう、まとめよう、伝えよう）、「スキルUP」のコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	EU統合による社会の変化	
	アフリカ州	主な生産品にたよる経済からの変化	
	北アメリカ州	世界じゅうに影響をあたえる産業	
	南アメリカ州	開発・環境問題と人々の生活	
	オセアニア州	他地域との結びつきの変化	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例

	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載	具体例（アジア州）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、「ためしてみよう」を記載している。 ○ 見開きページの右下にキャラクターの問いとともにアジア州のテーマを示している。 	<p>主題「急速に進む成長と変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「アジアの降水量」「アジアの人口」 ○ 写真「雨季と乾季のトンレサップ湖」「仏国寺」「アンコールワット」 ○ グラフ「アジア各地の気温と降水量」「アジアの主な国の自動車保有台数の移り変わり」 ○ テーマ 生徒の吹き出しで、「各国とも自動車保有台数が増えているね。特に中国は、急激に増えているけれど、どうしてなのかな。」先生の吹き出しで、「自動車保有台数を例にして見たように、アジアでは急速な成長をとげた国や地域が多くあります。急速な成長をとげた理由を追究しながら、アジアの地域的特色を学習しましょう。」と示している。アジア州の学習テーマを「アジアは、なぜ急速に成長したのでしょうか。」と示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、グラフ、生徒の吹き出しを記載している。 ○ 見開きページの右下部に、テーマを示している。 	<p>主題「アジアの多様性と経済発展」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「アジアの地勢と国々」「アジアの地域区分」「アジアの年間降水量」 ○ グラフ「アジア各地の気温と降水量」「面積と人口の州別割合」 ○ テーマ ページ下部に囲み文で「この節では、アジアのさまざまな地域の特徴を大きくとらえます。さらに、経済が発展することによりどのような影響がみられるのか、『多様性と経済発展』をテーマとしてアジアの特徴を追究していきましょう。」と示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフを記載している。 ○ 見開きページの右下部に、テーマを示している。 	<p>主題「巨大な人口と急速な経済発展」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「アジア州の自然」「アジア州の地域区分」「アジアの人口密度」 ○ 写真「雨季と乾季のトンレサップ湖の風景」 ○ グラフ「世界の面積・人口に占めるアジア州の割合」「アジア州のおもな都市の雨温図」 ○ テーマ ページ下部に囲み文で「世界一の人口集中地域であるアジア州の特徴を、巨大な人口と急速な経済発展に注目して、追究していきましょう。」と示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、生徒の吹き出し、「読み取ろう」を記載している。 ○ 次のページの見開きページの右下部に、テーマを示している。 	<p>主題「経済成長による社会の変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「アジア州の国々と地形」「アジア州の気候区分」 ○ 写真「ヒマラヤ山脈」「長江」「九寨溝」 ○ グラフ「アジア州各地の雨温図」 ○ テーマ ページ下部に囲み文で生徒のキャラクターとともに、「アジア州では、経済成長によって人々の生活が大きく変化しており、さまざまな課題も生まれています。『経済成長による社会の変化』をテーマに、アジア州の特徴を学習しましょう。」と示している。

【社会（地理的分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	調査の手順と方法

	調査の手順	方法
東 書	○ 情報を集める	○ 身近な地域の情報を集めよう ・高い場所からながめる等、合計10の方法を示している。 ・地形図の読み取り方
	○ 調査テーマを決める	○ 調査するテーマを話し合おう
	○ 仮説を立てる	○ 仮説を立ててみよう
	○ 調査計画を立てる	○ 調査計画を立てよう ・グループ調査をしよう ・視点を持って調査テーマを決めよう
	○ 調査する	○ 野外観察をしよう ○ 聞き取り調査をしよう ○ 資料を調べて深めよう ・資料を活用して調査しよう ○ 地域の変化や課題をとらえよう
	○ 考察しまとめる	○ 分かったことをまとめてみよう ・調査結果を地図でまとめよう ・GISを活用しよう ○ 地域を見直そう ・視点を持って将来像を考えよう
○ 発表する	○ 分かりやすい発表をしよう ・発表のシナリオを作って発表する ○ 発表会で学び合おう ・ほかのグループの発表を聞く ・地域のあるべき姿を考える	
教 出	○ 地形図の利用	○ 地形図と縮尺 ○ 縮尺による表現の違い ○ 身近な地域を見直そう
	○ 地域の観察	○ 高い場所から地域をながめよう ○ 風景を観察しながら歩こう
	○ テーマの決定	○ ルートマップに情報を集めよう ○ 調査テーマを決めよう ・気づいたことや疑問を分類する ・さまざまな調査方法、資料の入手先や注意点など ○ 予定を立てよう ・計画書にまとめる
	○ テーマ別の調査	○ 文献・統計資料を利用しよう ・統計資料からグラフをつくり、分かったことを表現する ○ 聞き取り調査をしよう ・聞き取り調査の進め方
	○ 調査結果のまとめ	○ 新旧の地図を比べよう ・新旧の住宅地図を比較する ・風景の変化を読む ○ 商店街を元気にするために
	○ 発表会を開く	○ 発表会の準備と進め方 ○ 地域に向けて発信しよう ・地域の人々を招いた発表会 ・まちづくりのアイデア
○ レポートの作成	○ レポートにまとめよう ・地理学習のまとめとして	
帝 国	○ テーマを決める	○ 身近な地域を見直そう ○ 疑問を整理して調べるテーマを決めよう ・身近な地域を調査する視点の例
	○ 調査方法を考える	○ 調査方法を考えよう ○ 調査の準備をしよう ・ルートマップの作り方
	○ 野外調査をする	○ 野外観察をしよう ○ 聞き取り調査をしよう ・聞き取り調査の方法 ・調査ノートの取り方
	○ 資料を集めて調べる	○ 資料を集めて調査しよう ・新旧の地形図の比較 ○ 地域の課題をとらえよう
	○ 調査結果を発表する	○ 意見を交換して調査結果をまとめよう ・レポートによる発表 ・プレゼンテーションソフトを使った発表 ・追加の調査 ○ 調査結果を報告する発表会を開こう ○ 地域の課題や将来像を考えよう

【社会（地理的分野）】

日 文	○ 調査テーマを決定する	○ 調査テーマを決定する ・調査テーマの例 ・関連図のつくり方
	○ 仮説を立てる	○ 仮説を立てる
	○ 調査計画を立てる	○ 調査計画を立てる
	○ 調査を進める	○ 野外観察をする ・野外観察の方法 ・野外観察のポイント
		○ 聞き取り調査をする ・聞き取り調査の方法
		○ 地形図を身近な地域の調査に役立てる ○ 文献や統計数値を使って調査する ・文献資料・統計数値の集め方
	○ 仮説を検証する	○ 仮説を検証する
	○ 地域の課題をとらえる	○ 地域の課題をとらえる ・地域の課題をとらえる視点
○ 調査結果をまとめる	○ 調査結果のまとめ方 ・レポート以外のまとめ方	
○ 調査結果を発表する	○ 私たちにできることを考えよう	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	作業的・体験的な学習の事例数と具体例

	事例数	作業的・体験的な学習の具体例
東 書	36	○ 地球儀を使った距離と方位の調べ方, 地図帳を使った国や都市の探し方, 世界の略地図のえがき方, 統計資料の使い方, 写真の読み取り方, 雨温図の読み取り方, 主題図の読み取り方①②③, グラフの読み取り方①②, 時差の調べ方, 日本の略地図のえがき方, 地形図の読み取り方①②, 人口ピラミッドの読み取り方, 視点を持って地域を調べよう, ウェビングマップを作ろう, インターネットを活用しよう, 「なぜ」という疑問に対する理由を考えよう, 統計資料を活用してグラフを作ろう, いくつかの調べ方を組み合わせよう, 主題図を作ろう, 調査結果をレポートにまとめよう, 発表の準備をしよう, 効果的な発表をしよう, 身近な地域の情報を集めよう, グループ調査をしよう, 視点を持って調査テーマを決めよう, 野外観察をしよう, 聞き取り調査をしよう, 資料を活用して調査しよう, 視点を持って将来像を考えよう, 調査結果を地図でまとめよう, 分かりやすい発表をしよう, GISを活用しよう
教 出	22	○ 地図のきまりを思い出そう, 地図の種類を知ろう, 地図をつくってみよう, 地図の使い方を覚えよう, 地図帳を使ってみよう, グラフの種類を思い出そう, グラフをつくろう, 地球儀から方位を知ろう, 地球儀から距離を知ろう, 地球儀と世界地図の違いを知ろう, 世界の略地図を描こう, 気温と降水量のグラフの見方, 時差について考えてみよう, 日本の略地図を描こう, 地形図から断面図をつくろう, 地形図の読み取りにチャレンジしよう, 文献を使った調査, 統計資料を使った調査, 地形図や空中写真を使った調査, 聞き取り調査, インターネットを使った調査, アンケートの実施
帝 国	25	○ 地図帳の統計資料の使い方, 地図帳のさくいんの引き方, 地球儀での距離と方位の調べ方, 世界の略地図のかき方, 写真の読み取り方①②, 雨温図の読み取り方, グラフの読み取り方①②, 主題図の読み取り方, 文献資料やインターネットの活用, 統計資料のグラフ化, 主題図のつくり方, レポートのつくり方, 展示発表の仕方, 時差の求め方, 日本の略地図のかき方, 地形図の使い方①「縮尺と地図記号」, 地形図の使い方②「等高線と断面図」, 地形図の使い方③「土地利用と空中写真」, 人口ピラミッドの読み取り方, ルートマップのつくり方, 聞き取り調査の方法, 調査ノートの取り方, 新旧の地形図の比較
日 文	37	○ 緯度・経度を使った地球上の位置のあらしめ方, 地球儀を使った方位と距離のはかり方, 時差の計算方法, 世界の略地図のかき方, 主題図の読み取り方, 複数の地図を比べて読み取る, 主題図からの分布の読み取り方, 地図のつくり方, 日本の略地図のかき方, 地形図の使い方を学ぶ, 地形図を活用する, 地形図を身近な地域の調査に役立てる, 風景から特色を読み取る, 人物から特色を読み取る, 身のまわりのようすと比べる, 乗り物・道具から特色を読み取る, 景観写真と地形図を比べる, 景観写真から生活のくふうを読み取る, 巻末資料の使い方, 雨温図の読み取り方, グラフの読み取り方, 棒グラフのつくり方, 円グラフのつくり方, 人口ピラミッドの読み取り方, 調査テーマの例, さまざまな調査方法, 聞き取り調査の方法, 調査結果のまとめ方①②, 発表会の運営方法, 調査テーマの例, 関連図のつくり方, 野外観察の方法, 聞き取り調査の方法, 野外観察のポイント, 文献資料・統計数値の集め方, 地域の課題をとらえる視点

【社会（地理的分野）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦ 単元や資料等の配列・分量
方法	総ページ数, 各大項目のページ数, 巻末資料の内容とページ数

	総ページ数	「世界の様々な地域」のページ数	「日本の様々な地域」のページ数	巻末資料の内容	目次・巻頭資料等のページ数
東書	301	122	155	統計資料 (6) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	7
教出	287	114	141	用語解説 (6) 統計資料 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	15
帝国	289	118	157	さくいん (4) 巻末資料 (3)	7
日文	289	112	157	統計資料 (4) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	5

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧ 発展的な学習に関する内容の記載状況
方法	発展的な学習における記載の仕方と事例及び思考を深める問いや手立て

	記載の仕方	事例	思考を深める問いや手立て
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な地域の単元に各1ページで7教材, 日本のさまざまな地域の単元に各1から2ページで9教材を記載している。 ○ 「ひであきさんの自由研究」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教と人々の暮らし ・アジアで交流する文化 ・環境に配慮されたヨーロッパ社会 ・大自然を生かした観光開発 ・多民族社会を形成するアメリカ ・南アメリカで活躍する日系移民 ・水没の危機にあるとされるツバル ・震災と防災・減災への取り組み ・さまざまな発電方法の特徴と課題 ・屋久島の自然と人々の生活 ・本州四国連絡橋と地域の結び付き ・琵琶湖と環境保全の歩み ・北陸の食文化 ・人口集中の課題と対策 ・産業を活性化させる人の流れ ・アイヌの人たちと多文化共生 ○ 「ひであきさんの自由研究」 稲作が盛んな地域の調査を例に 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人口集中の課題と対策 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市を事例に考えるー ・ページ上部に学習を促す文を記載している。 ・ページ下部にトライを次のように記載している。 「人口が集中する地域で見られる問題を解決するための取り組みが, 全国各地で行われています。新聞などを活用して, 自分の住んでいる地域で見られる問題と取り組みを調べましょう。」 ○ 自由研究の手順を資料とともに示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域から世界を考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な地域の単元に, 各1ページで6教材を記載している。 ○ 「現代日本の課題を考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な地域の単元に, 各2ページで7教材を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域から世界を考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・宗教をめぐる共存と対立 ・甘いチョコレート之苦い現実 ・原子力発電と環境問題 ・世界に展開する軍勢力 ・移動する人々ー日系移民の苦難の歴史 ・変わる「楽園」の暮らしー太平洋の島々 ○ 「現代日本の課題を考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・公害を乗り越えて ・荒廃の進む日本の山村 ・東アジアと結びつく街 ・多文化共生を旨として ・交流による地域づくり ・震災を乗り越えて ・アイヌの人たちの文化をまなぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 荒廃の進む日本の山村 <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に学習を促す文を次のように記載している。 「日本は山地が多く, そこには多くの集落があります。しかし, ほとんどの地域で人口減少と高齢化が進み, 地域社会とそこに暮らす人々の生活を維持することが困難になっています。中国・四国地方を例に, 課題について現状を調べながら考えてみましょう。」

【社会（地理的分野）】

帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「トライアル地理」 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な地域の小単元に、1 から2 ページで教材を記載している。 ○ 「地域を探ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な地域の小単元に、各1 ページで6 教材を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「トライアル地理」 <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップを使ってみよう ・観光ルートマップをつくってみよう ○ 「地域を探ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・公害の経験を生かした環境保全への取り組み ・過疎地域での地域おこしの取り組み ・伝統的な地場産業から先端技術産業まで ・交通網の整備による地域の変化 ・多文化の共生をめざしたまちづくり ・地震への備えと復興に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「トライアル地理」 <ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」で図を見て考察させるなどの問いを示している。 ○ 過疎地域での地域おこしの取り組み～徳島県神山町を例に～ <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に学習を促す文を次のように記載している。 「人口集中が続く都市部では、過密による都市問題を解消するために、さまざまな取り組みが行われています。一方、人口減少が進む山間部や離島では、過疎の問題が深刻となっています。過疎地域の一つである徳島県神山町では、地域おこしのためにどのような取り組みが行われているのでしょうか。」
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自由研究」 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な地域の小単元に、各1 ページで6 教材を記載している。 ○ 「地域からのメッセージ」 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な地域の単元に、各1 から2 ページで10 教材を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自由研究」 <ul style="list-style-type: none"> ・経済成長を続けるスリランカと日本 ・地球温暖化を防ぐために ・武器を芸術作品に変える取り組み ・工業の変化に対応する都市の取り組み ・移民でつながるブラジルと日本 ・北極地方と南極地方 ○ 「地域からのメッセージ」 <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災からの復興をめざして ・せまりくる巨大地震 ・原子力発電所の事故と再生可能エネルギー ・日本の環境首都をめざして ・地域活性化の取り組みをみる ・時代の変化に対応する伝統文化 ・伝統工業・地場産業の現状と未来 ・ニュータウンからみる結びつきの変化 ・過去からの伝承に学ぶ ・火山と地域との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活性化の取り組みをみる～鳥取県日南町を例に～ <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に学習を促す文を次のように記載している。 「過疎化や少子高齢化が進む中国・四国地方の農村部では、どのような地域活性化の取り組みが行われているのでしょうか。鳥取県日南町の例をみてみましょう。」

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	資料の種類と掲載数

	写真	絵図	地図	図表・グラフ
東書	620	74	218	180
教出	460	30	209	132
帝国	560	84	182	190
日文	516	56	191	152

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注等の記載の仕方

脚注・側注等の記載の仕方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文やコラム文章等の上部に参照するページの番号を記載している。 ○ 本文上部に参照する資料の番号を記載している。 ○ 地理の学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付けるコーナー「地理スキルアップ」を記載している。 ○ 調査学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身につけるコーナー「調査の達人」を記載している。 ○ 本文での学習をくわしく説明したり、関連する内容を取り上げたりしたコーナー「地理にアクセス」を記載している。 ○ その時間で学習した内容を確認したり、さらに深めたりする課題「確認」を記載している。 ○ 学習を深めるための作業や活動を紹介する「えんぴつマーク」を記載している。 ○ その時間の導入部で取り組むのに適した作業や活動を紹介する「ためしてみよう」を記載している。 ○ ちょっとおもしろい話を紹介する「ティーブレイク」を記載している。 ○ 歴史の学習や、3年生での公民の学習と、特につなぐりの強い内容に「分野関連マーク」を付けている。 ○ 重要文化財や、そのうちの国宝に指定されている文化財に「国宝・重要文化財マーク」を付けている。 ○ 国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の世界遺産リストに登録されている遺跡や景観、自然などに「世界遺産マーク」を付けている。 ○ 生徒と先生のキャラクターによる吹き出しを記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文下部に参照するページ番号を記載している。 ○ 本文上部に参照する資料の番号を記載している。 ○ 授業のなかで知っておきたい語句を説明する「側注解説」を記載している。 ○ この時間の学習に関連するコラム「地理の窓」を記載している。 ○ 学習の導入となる資料を補足・説明し、本文内容との接続をはかる「見てみよう」を記載している。 ○ 示されている手がかりをもとに、資料を読み取ったり、考えを深める「読み解こう」を記載している。 ○ 本文記述と関連した内容のある他のページを示す「関連ページ」を記載している。 ○ 地図やグラフなどの見方を確かめるコーナー「地理にアプローチ」を記載している。 ○ 生徒と先生のキャラクターによる吹き出しを記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文下部に参照するページ番号を記載している。 ○ 本文上部に参照する資料（解説文）の番号を記載している。 ○ 難解な用語や補足説明の必要な箇所には、注による「解説」を記載している。 ○ 未来の社会をつくるために参考になる取り組みを紹介した「羅針盤マーク」を記載している。 ○ 地理の基礎的な技能を身につけるコラム「技能をみがく」を記載している。 ○ 現地に住む人や実際に働いている人の、具体的な話を紹介したコーナー「声」を記載している。 ○ 知識を深めたいときに学習する「発展」を記載している。 ○ 穴埋めや書きこみなど、教科書や地図帳を活用した作業「やってみよう」を記載している。 ○ 資料に関する問いかけや作業活動、注目すべき点を紹介する「資料活用」を記載している。 ○ 生徒のキャラクターによる吹き出しを記載している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文下部に参照するページ番号を記載している。 ○ 本文上部に参照する資料の番号を記載している。 ○ 見開き内でポイントとなる言葉を示す「鍵」のマークを付けている。 ○ 学習内容を全体のなかに位置づけて学習を進めることができる「インデックス」を記載している。 ○ 小学校の学習や歴史・公民の学習とのつながりを示す「連携コーナー」を記載している。 ○ 見開きの学習内容の理解を深めるために、関連する特設ページなどを示す「○○○も見てみよう」を記載している。 ○ 図版の内容を読み取ったり、読み取ったことをもとに思考・判断・表現したりする活動を示す「言語活動コーナー」を記載している。 ○ 見開きの学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができる「地理+α」を記載している。 ○ 地理の学習を進めるにあたって必要な技能を詳しく解説している「スキルUP」を記載している。 ○ 見開きの学習内容を深めるための作業学習「トライ」を記載している。 ○ 実際にそこに住む人々の言葉を紹介している「声」を記載している。 ○ 生徒と先生のキャラクターによる吹き出しを記載している。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫
方法	小単元のまとめにおける問いの例

小単元のまとめにおける問いの例		
東 書	「中国・四国地方 ー都市と農村の変化と人々の暮らしー」	
	○ 山陰、瀬戸内、南四国の各地域の降水量の特色について、降水量に影響をあたえている自然条件にふれながら説明しましょう。	
	○ 156 から 159 ページでの学習内容などをふり返りながら、中国・四国地方の追究テーマに対する答えを予想しましょう。	
	○ 広島市などの県庁所在地で見られる交通の課題とその原因、対策について、次の三つの語句を使って説明しましょう。[地方中枢都市/郊外/再開発]	
	○ あなたが中国・四国地方の山間地域や離島で過疎対策をするとしたら、どのようなことを行うか、その理由もふくめて自分の考えを説明しましょう。	
○ 中国・四国地方では、交通網の発達によってどのような影響が見られるようになったか、次の語句を使って説明しましょう。[ストロー現象/農村]		
教 出	「中国・四国地方 ～人口や都市・村落を中心に考えよう～」	
	【ステップ1】	【ステップ2】
	○ 中国・四国地方を、日本海側、瀬戸内海側、太平洋側の三つに分けているものを二つ書き表そう。	○ 中国・四国地方の自然と人口の特色を、ステップ1の三つの地域ごとにまとめよう。
	○ 広島市の人口と面積が大きく変わったきっかけを書き表そう。	○ 第二次世界大戦の前後で、広島市の都市の性格がどのように変化したのかをまとめよう。
	○ 山間部の昔ながらの暮らしについて、書き表してみよう。	○ 過疎の進行によって、どのようなことが問題となるのか、まとめてみよう。
	○ 馬路村や上勝町の特産物を書き表そう。	○ 馬路村と上勝町が特産品を開発できた理由をまとめよう。
○ 中国・四国地方の交通網について、交通機関ごとに表にまとめよう。	○ 交通網の発達と人口の変化を関連づけて、まとめてみよう。	
帝 国	「中国・四国地方」ー他地域との結びつきー	
	【確認しよう】	【説明しよう】
	○ 中国・四国地方の自然環境に影響を与える山地と海流の名称、季節風の向きを、本文から書き出してみよう。	○ 中国・四国地方の気候の特色を、山陰・瀬戸内・南四国に分けて説明してみよう。
	○ 本州と四国とを結ぶ交通路を本文から書き出し、地図帳で確認してみよう。	○ 本州四国連絡橋の開通によって、島に暮らす人々の生活がどのように変化したのか、説明してみよう。
	○ 瀬戸内の臨海部でみられる工業を、本文から三つ書き出してみよう。	○ 瀬戸内工業地域でつくられる工業製品はどのように変化してきたのか、説明してみよう。
	○ 瀬戸内や、南四国でさかんに栽培されている果樹や野菜を、本文やグラフから書き出してみよう。	○ 高知平野の野菜が、遠くの地域でも売られるようになった理由を、説明してみよう。
○ 過疎化が進む地域で取り組まれている対策の例を、本文から二つ書き出してみよう。	○ 山陰で観光客が増えている理由を説明してみよう。	
日 文	「中国・四国地方 ー人口や都市・村落の視点でー」	
	【確認】	【活用】
	○ 中国・四国地方の地形と気候の特色を、次の言葉を使ってまとめよう。地形の特色 [けわしい などらか 複雑] 気候の特色 [日本海 さえぎる 日本海流]	○ 山陰、瀬戸内、南四国の気候のうち、身近な地域の気候と最も似ているのはどれだろう。そう考えた理由を説明しよう。
	○ 中国・四国地方の人口、農業・漁業、工業の特色を、山陰、瀬戸内、南四国の三つの地域に分けて説明しよう。	○ 身近な地域は、過密地域、過疎地域のどちらに含まれるだろうか。なぜそう考えたのかも含めて、説明してみよう。
	○ 広島市の歴史と、過密化にともなって発生している課題を、教科書の文章から抜きだそう。	○ みなさんの住む県で 1999 年以降に行われた市町村合併について、合併した市町村の範囲や、なぜ合併したのかを調べよう。
	○ 過疎化が進むと、どのような課題が発生するか、高齢者や子どもの立場になってまとめよう。	○ 身近な地域のまちおこし・むらおこしを行う場合、どのようなものをアピールするとよいだろう。「私のまちおこし(むらおこし)」というタイトルで発表しよう。
○ 交通網の整備による影響を、光(プラス面)、影(マイナス面)に分けて整理しよう。	○ 本州と四国地方のあいだに三つのルートで連絡橋が建設されたことで、どのような利点と問題点があると思うか、自分の考えをまとめて発表しよう。	

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	世界の様々な地域の調査におけるまとめ方の例

世界の様々な地域の調査におけるまとめ方の例				
	テーマ	まとめ方について	構成	資料
東 書	○ 「韓国の食文化の背景」～なぜ、韓国でキムチ作りが発達したのだろうか～	<p>【調査結果をレポートにまとめよう】 レポートをまとめるときには(1)～(7)のような流れで構成すると、読む人に調査の内容や自分の考えが伝わりやすくなります。また、図表や写真、地図を入れるなどの工夫をすると、内容が伝わりやすくなります。</p> <p>レポートにまとめる際には、資料から読み取った内容と意見、また自分の意見と他人の意見を分けて書くことも必要です。</p>	<p>【レポートの構成】 (1) テーマ設定の理由 (2) 仮説 (3) 調査方法 (4) 調査結果 (5) まとめと考察 (6) 感想と今後の課題 (7) 参考文献、ウェブページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 「キムチ」 ○ グラフ 「ソウルと東京の気温と降水量」
教 出	○ 地域の多様なすがた～インドを例に「カレーからみた食文化」	<p>【調査結果をまとめる】 調査した結果をまとめる。文章にまとめたレポートのほか、集めた資料や情報をわかりやすく図や地図に表現する。 例：グラフ（折れ線・棒・帯）、主題図、模式図、イラストマップ、年表形式、新聞形式など。</p>	<p>【レポートの構成】 ○ 調べた動機 ○ 分かったこと ○ インドを味わう ○ 料理屋のシェフ、サッティヤジートさんにインタビューしました ○ まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 「カレーを食べる人びと」 「さまざまなスパイス」 ○ 図 「サッティヤジートさん」
帝 国	○ 「韓国の食文化～キムチに代表される独特な食文化は、どのようにはぐくまれたのか～」	<p>【レポートのつくり方】 国や地域について、調査テーマに沿って調べた結果を、レポートにまとめてみましょう。レポートは、おおまかに以下の1)～6)のような構成でつくっていくと、調査内容を伝えやすいものにすることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 冒頭に、調査テーマをタイトルとして書く 2) 調査の動機（きっかけ）を書く 3) どのように調査を進めたのか、調査の方法を書く 4) 調査して分かったことを、具体的な資料を提示しながら書く 5) 調査結果の結論を「まとめ」として書き、感想などもそえる 6) 参考にした本など、情報の出典（出所）を明記する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査の動機と目的 ○ 調査の方法 ○ 調査からわかったこと ○ まとめと感想 ○ 参考資料 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 「おかずが多い韓国の食事」 「キムチ冷蔵庫」 ○ グラフ 「ソウルと東京の雨温図」
日 文	○ 「シベリア鉄道班が調べたロシアのようす」	<p>【調査結果のまとめ方】 調査結果を整理し、レポートにまとめてみましょう。紙面には、なるべく地図・グラフ・表・写真などを取り入れて、わかりやすくしましょう。</p> <p>文章を書くときには、集めた資料をそのまま引き写すこと（コピーアンドペースト）は絶対にしてはいけません。引用した部分以外は、必ず自分の言葉で書くようにしましょう。</p> <p>レポート構成の基本 レポートをまとめるときには、まず構成を考えましょう。しっかりした構成のレポートにすれば、読む人に内容は伝わりやすくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査する国のあらましを紹介する。 ・調べて分かったことを書く。 ・自分の意見や考えを書く。 ・調査に使った資料のリストをつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロシアのあらまし ○ シベリア鉄道について ○ ロシアの経済発展とシベリア鉄道 ○ 参考資料 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 「ウラジオストク駅」 「シベリア鉄道とバイカル湖」 「ロシア西部の広大な農地」 「シベリアに広がる針葉樹林」 ○ 地図 「シベリア鉄道と沿線の様子」 ○ グラフ 「ロシアの国内総生産」 「石油の国別生産量」